

# 東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

## 今号（第26号）のトピックス

- 7月24日以降、新型インフルエンザ届出方法変更；全数から集団発生のみとなる。  
目黒、大田、渋谷、江戸川、小平、あきる野の4区2市で集団発生
- 第30週(7月20日～26日)の季節性インフルエンザ患者報告数は 82人、  
定点当たり 0.29人（去年同期 4人、定点当たり 0.01人）

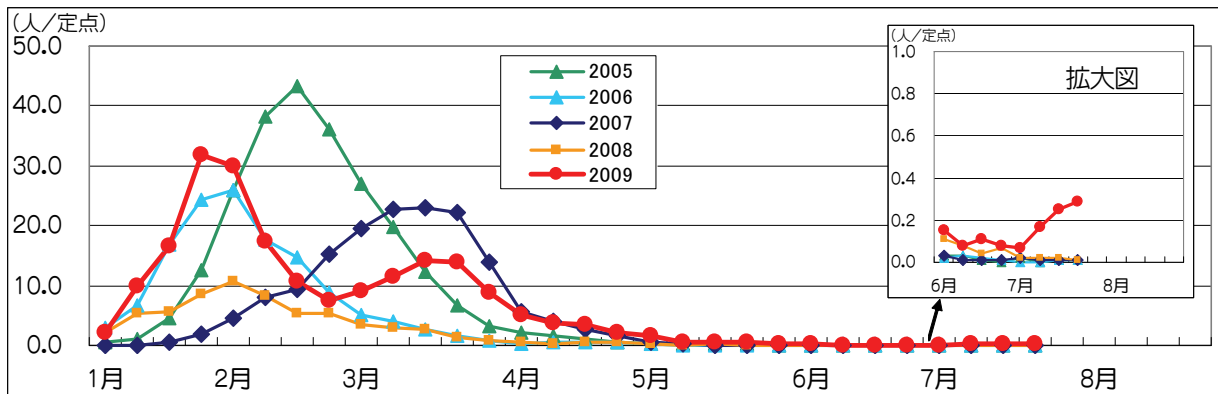


図1. 季節性フルエンザ：過去5シーズンの患者報告数の推移（東京都）

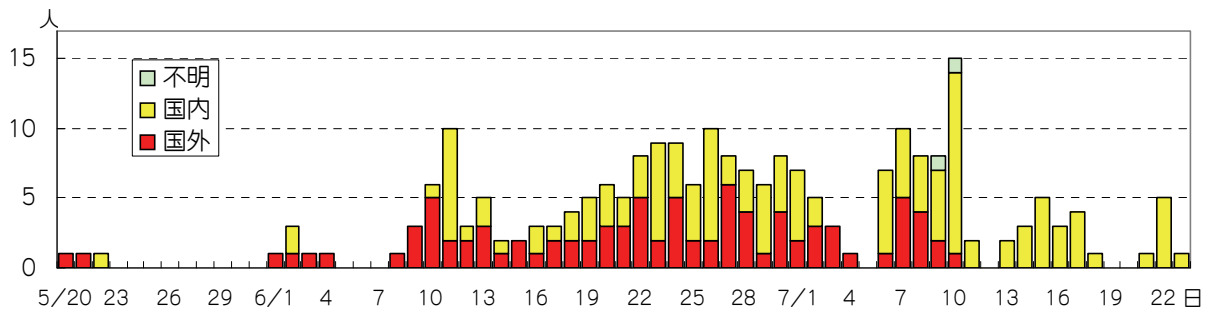


図2. 新型インフルエンザ患者数の推移  
(東京都：患者発生届受理日別、推定感染地域別)

## 1 季節性インフルエンザ患者発生状況 第30週（7月20日～26日）

【東京都】インフルエンザ定点からの患者報告数は 82人、定点当たり 0.29人と、28週以降連続して増加し、例年に比して高い値になっています（去年同期 4人、0.01人/定点）。

【全国】患者報告数は 1,312人、定点当たり 0.28人です。全国も先週(0.22人/定点)から増加し、例年に比して高い値になっています。沖縄県では、定点当たりの報告数が1人を超えています。

## 2 新型インフルエンザ患者発生状況 (7/23まで：全数把握期間)

5月20日から7月23日まで都内感染事例が増え、確認された患者（確定例）は229名になりました。この229名の情報を推定感染地域別に見てみると、国外91件（40%）、国内136件（59%）、不明2件（1%）となっています（図2）。この状況を詳細に示したのが図3です。新型インフルエンザがはじめて検出された21週にはアメリカでの感染が圧倒的でしたが、徐々に東京での感染者が増え、26週に東京での感染が半数を超え、29週以降は東京で

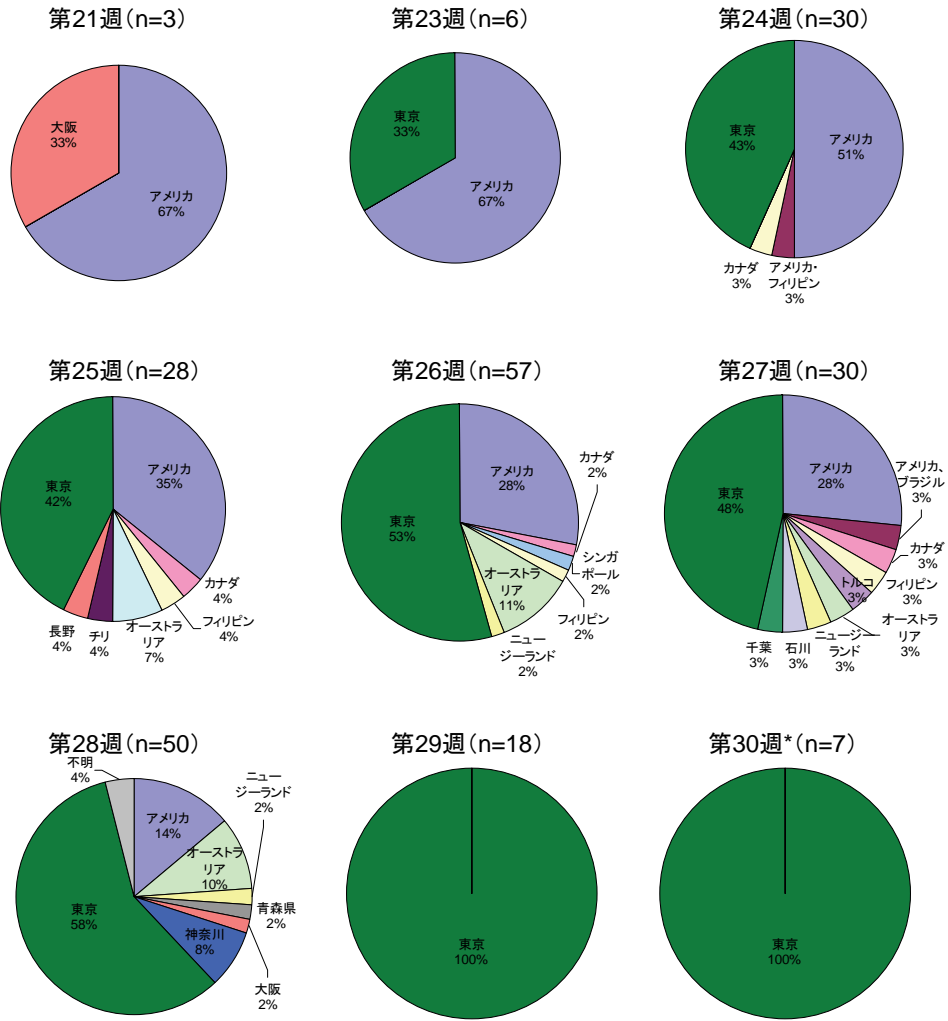


図3. 週別、推定感染地別患者割合  
(第30週については7/23まで)

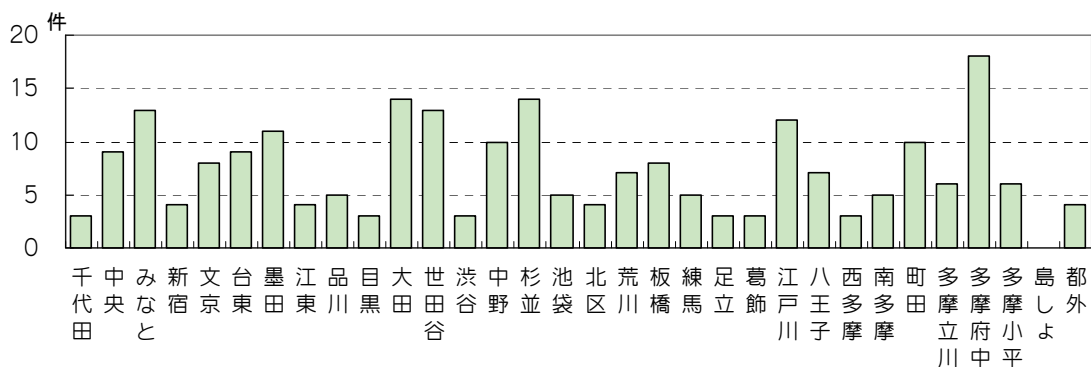


図4. 患者住所地管轄保健所別届出数  
(7/23まで：全数把握期間)

の感染が推定される患者だけになりました。  
図4に住所地管轄保健所別届出数を示しました。

また、この情報を年齢階級別・性別にみると10歳代が一番多く、男子65名、女子42

名となっています(図5)。

確定患者の症状をみると、発熱が99%の患者に観察され、咳(75%)、咽頭痛(45%)の症状もみられています(表1)。

7月24日より、感染症法(施行規則)の改

表1. 確定患者の症状

症状	発症率(%)
熱	98.7
咳	72.1
鼻水・鼻づまり	34.1
咽頭痛	45.0
筋肉痛・関節痛	21.0
全身倦怠感	23.6
嘔吐	3.9
下痢	3.9
結膜炎	0.0

\*確定患者229人の分析による

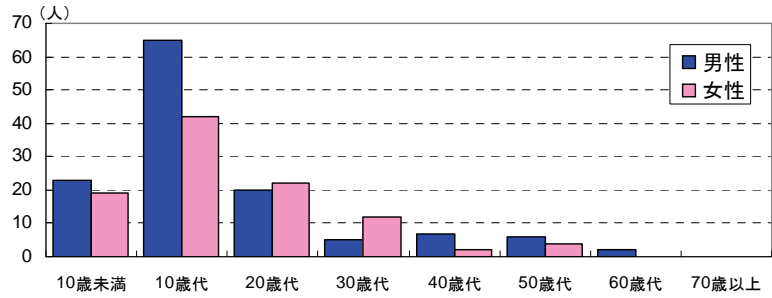


図5. 年齢階級別確定患者数

正により新型インフルエンザ患者の届出方法が変更になりました。これまでは診断されたすべての人の届出が医師に義務付けられていましたが、国内の流行状況に鑑み、施設内で患者が複数認められるなど集団発生がある場合に届出を行うことになりました。

表2. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1	AH3	B	AH1pdm
36-18週 (9/1-5/3)	864	394	223	104	94	0
19-26週 (5/4-6/28)	186	15	0	7	8	0
27週 (6/29-7/5)	26	0	0	0	0	0
28週 (7/6-12)	24	1	0	0	0	1
29週 (7/13-19)	24	3	0	0	0	3
合計			223	111	102	4

\*AH1pdm:新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)  
19週以降に搬入された検体から検査実施

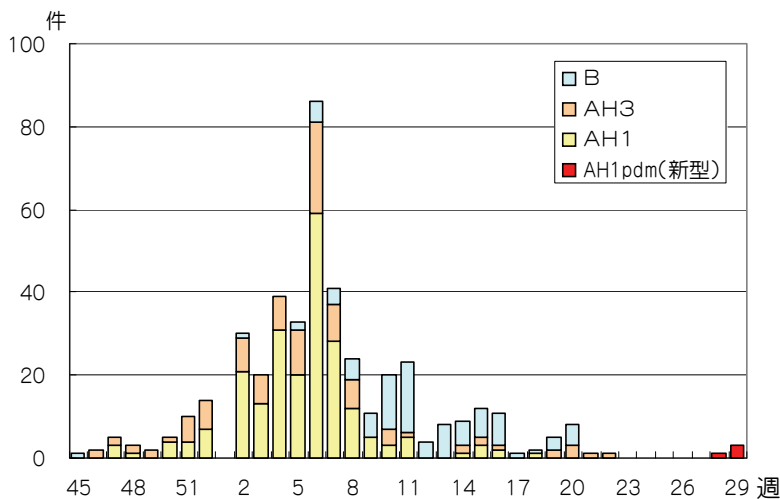


図6. インフルエンザウイルス検出数 (都：定点医療機関)

### 3 新型インフルエンザ集団感染発生状況

(7/24以降:集団発生把握期間)

7月24日から26日までに目黒、大田、渋谷、江戸川、小平、あきる野の4区2市で計7件の新型インフルエンザによる集団発生が報告されています。小学校、中学校、高校、専門学校など多岐にわたる施設で新型インフルエンザによる集団発生が起っています。

### 4 東京都等の検査情報

(2008年9月以降)

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から28週に1件、29週に3件、合計4件の新型インフルエンザウイルスが検出されています。(表2、図6)。

東京感染症アラート検査等で、新型インフルエンザウイルス(AH1pdm)が、7月16日から7月23日までに合計15件検出され、累計229件になりました。

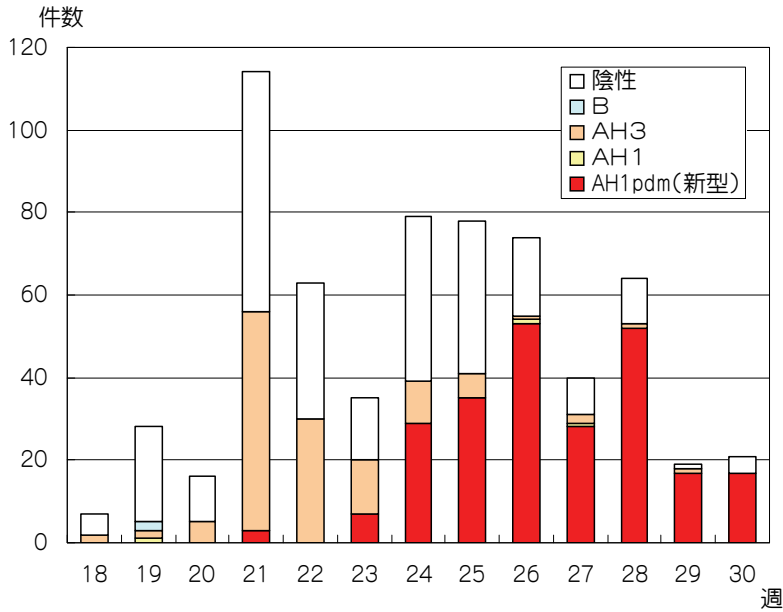


図7. インフルエンザウイルス検出数  
(東京感染症アラート検査等、確定患者数別。30週は7/23まで)

4月27日(18週)に東京都感染症アラート検査の体制が整い、4月29日に最初の検体が搬入されました。検体は直ちに検査されAH3亜型が検出されました。これが新型インフルエンザに関連する最初の検査結果になります。当初は、AH3亜型が主に検出され、新型インフルエンザウイルスはまったく検出されませんでした。5月20日(21週)に初めて新型インフルエンザウイルスが検出され、その後、週を追うごとに当該ウイルスが主に検出されるようになりました(図7)。

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>